



包括連携協定を結んだ沖縄ウィメンズスポーツクラブの岩井香寿美取締役(左から2人目)と三幸学園の森岡孝之理事(同3人目)ら18日、那覇市・沖縄みらいAI&IT専門学校

デイゴスと三幸学園、連携 ジュニア選手の育成推進

女子サッカーの琉球デイゴスを運営する沖縄ウィメンズスポーツクラブと、沖縄リゾート&スポーツ専門学校を運営する三幸学園は18日、包括連携協定を締結した。県内の子どもたちの心身育成と同校生徒のキャリア開発を軸に、地域に根ざしたアスリート育成モデルの構築が目的。同クラブの岩井香寿美取締役は「スポーツを通じて、沖縄に貢献する新しい仕組みになれば」と力を込めた。

同校は協定を基に、2034年に県内で開催される国民スポーツ大会に向け、小3・4年生40人を対象

にした「沖縄ジュニアアスリートプロジェクト」に会場を提供し、同校生徒2人が現場実習の機会として運営に携わる。同校の森岡孝之理事は「トレーナーを目指す生徒にとって、大変意義深いものになる。協力できて光栄」と感謝した。

プロジェクト参加に立候補した砂川章也さん(同校スポーツトレーナー科1年)は「子どもたちと関わる貴重な機会。スキルアップにつなげたい」と意気込んだ。

(大城祥一)